



平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ管理担当 (氏名) 土井 義人 TEL 027-280-3371

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	27,583	9.3	3,307	0.5	3,390	0.7	1,934	△ 26.5
25年8月期第3四半期	25,242	2.9	3,289	△ 1.7	3,365	△ 0.5	2,632	46.3

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 2,074 百万円 (△24.0%) 25年8月期第3四半期 2,730 百万円 (44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	204.12	—
25年8月期第3四半期	277.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	24,994	12,671	48.4
25年8月期	20,648	11,075	51.5

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 12,090 百万円 25年8月期 10,641 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年8月期	—	25.00	—	—	—
26年8月期 (予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,059	10.3	4,646	11.9	4,715	11.3	2,630	△ 14.4	277.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会社上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期3Q	9,600,000株	25年8月期	9,600,000株
26年8月期3Q	122,599株	25年8月期	122,599株
26年8月期3Q	9,477,401株	25年8月期3Q	9,477,406株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 追加情報.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済が堅調な一方で新興国景気が振るわぬために輸出の伸びが不安定であるものの、国内景気は経済対策による下支えが功を奏し、企業収益の回復に裏打ちされ家計の所得環境が改善しているため、消費増税の悪影響も早期克服が期待され、個人のサービス支出も堅調を維持しております。各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

個人のサービス消費はその中身の多様化が進んでいるため、他業態をも含めた顧客獲得競争がますます厳しくなっており、そうした傾向の中で、新しい遊び方やサービスを考案し提供することにより、顧客需要を開発し、市場の活性化を図ることこそ重要と考え、取り組んでおります。

新たな来店動機の喚起と競合店との差別化を目的に開発したカラオケ新システム『すきっと』は、4月に全店導入を終え、その特長がお客様に徐々に理解され稼働が伸びつつあります。新業態「ワンカラ」の出店展開を加速化させると共に、既存業態「まねきねこ」も新規出店とリニューアルの推進により、質量両面での店舗網の拡充整備に取り組んでおります。

秀でた個人店舗の特徴であるきめ細かな接客と、経営者視点でのより直向な店舗運営を実現させるために、社員個々のモチベーションを高める教育に取り組み、社員独立制度による独立者育成に努め、一層の力を注いでおります。

韓国における直営店舗展開とシンガポールにて11店舗を有するK BOX社の全株式の取得により、カラオケ事業の海外展開をより一層加速させてまいります。

当第3四半期連結会計期間末の国内店舗数は、前連結会計年度末比14店舗増加（新規出店22店舗、閉店8店舗）し352店舗となりました。リニューアルは28店舗行いました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は145億42百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は11億68百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

【カーブス】

病気になったり、あるいは介護を必要としたりすることを可能な限り無くしていく。このような不安の無い高齢化社会を目指していく。これらの実現のためには、一人一人が正しい運動習慣と食習慣を身につけ継続していくことが最も大切であると、考えております。すべての会員が、効果的な運動方法を習得し、継続できる運動習慣を身につけていくことができる、そのためのサービスの向上改善、そして通いやすいカーブス店舗網構築のための出店展開を、加盟店とフランチャイズ本部が一丸となって推進しております。

当第3四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比84店舗増加し1,423店舗（内グループ直営店49店舗）に、会員数は15千人増加し601千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は116億60百万円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は25億6百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

【温浴】

人材育成やコスト管理面などで、カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに、固定費特に水道光熱費削減に向けて抜本的な改革に挑戦して、温浴施設経営の再生に取り組んでおります。

この結果、温浴セグメントの売上高は11億64百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント損失は1億73百万円（前年同期比1億4百万円損失額減少）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は2億15百万円（前年同期比37.2%減）、セグメント利益は96百万円（前年同期比57.0%減）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第3四半期連結累計期間の売上高は275億83百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益33億7百万円（同0.5%増）、経常利益33億90百万円（同0.7%増）、四半期純利益は19億34百万円（同26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億46百万円増加し、249億94百万円（前連結会計年度末比21.0%増）となりました。

(流動資産)

流動資産は1億15百万円増加し96億60百万円(同比1.2%増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億66百万円、商品が1億55百万円および原材料及び貯蔵品が21百万円増加した一方で、現金及び預金が8億21百万円減少したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は27億34百万円増加し95億18百万円(同比40.3%増)となりました。これは主に、建物及び構築物が19億25百万円、土地が5億40百万円および車両運搬具及び工具器具備品が2億80百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は9百万円減少し11億66百万円(同比0.8%減)となりました。これは主に、ソフトウェアが8億96百万円増加した一方で、ソフトウェア仮勘定が8億31百万円及びのれんが74百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は15億4百万円増加し46億49百万円(同比47.8%増)となりました。これは主に、関係会社株式が17億20百万円増加した一方で、投資有価証券が1億45百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は42億30百万円増加し153億34百万円(同比38.1%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は6億26百万円増加し78億82百万円(同比8.6%増)となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が7億50百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は21億23百万円増加し44億40百万円(同比91.7%増)となりました。これは主に、長期借入金が20億35百万円および資産除去債務が1億19百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は27億50百万円増加し123億22百万円(同比28.7%増)となりました。

(純資産)

純資産は15億95百万円増加し126億71百万円(同比14.4%増)となりました。これは主に、利益剰余金が14億60百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が変更されておりますが、当第3四半期連結累計期間の業績に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,891,720	5,070,426
受取手形及び売掛金	1,378,093	1,944,692
商品	591,895	747,849
原材料及び貯蔵品	134,419	155,986
繰延税金資産	320,648	293,483
その他	1,239,055	1,464,224
貸倒引当金	△11,596	△16,434
流動資産合計	9,544,235	9,660,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,011,189	5,936,864
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	1,329,658	1,609,908
土地	1,425,689	1,965,917
リース資産（純額）	16,584	5,315
有形固定資産合計	6,783,121	9,518,006
無形固定資産		
のれん	98,082	23,931
ソフトウェア	235,681	1,132,051
その他	842,178	10,691
無形固定資産合計	1,175,942	1,166,674
投資その他の資産		
投資有価証券	629,133	483,217
関係会社株式	—	1,720,674
長期貸付金	540,294	444,364
長期前払費用	105,763	97,157
敷金及び保証金	1,471,290	1,621,065
繰延税金資産	266,614	251,923
その他	144,979	46,550
貸倒引当金	△13,236	△15,323
投資その他の資産合計	3,144,840	4,649,629
固定資産合計	11,103,905	15,334,310
資産合計	20,648,140	24,994,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,135,154	1,459,595
1年内返済予定の長期借入金	1,037,624	1,788,112
リース債務	12,355	2,092
未払金	924,671	1,039,936
未払費用	877,847	774,312
未払法人税等	1,164,427	553,966
賞与引当金	187,621	95,203
預り金	1,239,940	1,333,288
その他	676,108	835,691
流動負債合計	7,255,750	7,882,200
固定負債		
長期借入金	1,501,611	3,537,478
リース債務	5,057	3,488
繰延税金負債	442,764	314,750
資産除去債務	288,486	408,165
その他	78,581	176,604
固定負債合計	2,316,503	4,440,486
負債合計	9,572,253	12,322,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	9,994,046	11,454,775
自己株式	△300,013	△300,013
株主資本合計	10,671,233	12,131,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,945	5,920
為替換算調整勘定	△27,577	△47,602
その他の包括利益累計額合計	△29,523	△41,682
少数株主持分	434,177	581,573
純資産合計	11,075,887	12,671,853
負債純資産合計	20,648,140	24,994,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	25,242,702	27,583,374
売上原価	18,133,508	20,065,080
売上総利益	7,109,194	7,518,294
販売費及び一般管理費	3,819,253	4,210,360
営業利益	3,289,941	3,307,934
営業外収益		
受取利息	11,509	11,812
受取配当金	58	44
協賛金収入	29,057	6,618
為替差益	29,207	24,788
店舗移転補償金	—	26,476
その他	44,635	36,765
営業外収益合計	114,468	106,505
営業外費用		
支払利息	25,120	13,705
その他	13,557	10,097
営業外費用合計	38,677	23,802
経常利益	3,365,732	3,390,637
特別利益		
固定資産売却益	1,539,857	3,650
関係会社株式売却益	1,003	—
特別利益合計	1,540,860	3,650
特別損失		
固定資産売却損	18,855	—
固定資産除却損	18,281	80,631
減損損失	227,972	41,326
子会社移転費用	37,697	—
特別損失合計	302,807	121,958
税金等調整前四半期純利益	4,603,786	3,272,328
法人税、住民税及び事業税	1,958,873	1,275,797
法人税等調整額	△109,167	△90,464
法人税等合計	1,849,705	1,185,332
少数株主損益調整前四半期純利益	2,754,081	2,086,995
少数株主利益	122,069	152,395
四半期純利益	2,632,012	1,934,599

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,754,081	2,086,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,391	7,865
為替換算調整勘定	△22,265	△20,025
その他の包括利益合計	△23,657	△12,159
四半期包括利益	2,730,423	2,074,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,608,354	1,922,440
少数株主に係る四半期包括利益	122,069	152,395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	13,874,219	9,864,517	1,161,460	342,505	25,242,702	25,242,702	—	25,242,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,874,219	9,864,517	1,161,460	342,505	25,242,702	25,242,702	—	25,242,702
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,774,596	1,962,151	△278,785	223,607	3,681,570	3,681,570	△391,628	3,289,941

(注) 1. セグメント利益の調整額△391,628千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗及び営業不振により投資額の回収が困難と見込まれる店舗について227,972千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	14,542,311	11,660,963	1,164,839	215,260	27,583,374	27,583,374	—	27,583,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,542,311	11,660,963	1,164,839	215,260	27,583,374	27,583,374	—	27,583,374
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,168,677	2,506,886	△173,836	96,202	3,597,930	3,597,930	△289,996	3,307,934

(注) 1. セグメント利益の調整額△289,996千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗について41,326千円の減損損失(特別損失)を計上しております。